

341炉、窯を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	9 ～ 10	被災労働者は、一般県道の水路清掃工事に対する交通誘導業務を行っていたとき、前方から一般車両が来たので、誘導しようとした際、重機（0.1m、3級、BH）の横を通過できると判断し、その一般車両を注視していたところ、まさか重機が後退しているとは思っていなかったため、その重機のキャタピラに巻き込まれ下敷きとなり、臀部、右下股等を負傷した。	50	4	30309	10 ～ 29 人
2	2018	2	3 ～ 4	焼成炉内でワークが落下したため、ワークを取り出そうと高温の焼成炉内に身を乗り出したところ火傷した。	57	11	11203	100 ～ 299 人
3	2018	2	7 ～ 8	昼食を準備中、出汁（高温）の入った鍋を移動しようと両手で運搬中、足下が不安定で躓き、出汁が左下腿に掛かり負傷した。	63	2	130201	30 ～ 49 人
4	2018	2	13 ～ 14	厨房を小走りで移動中、床部のグレーチング部分で足を滑らせバランスを崩したときに、右手がフライヤー内に入ってしまい火傷をした。	41	11	140201	10 ～ 29 人
5	2018	2	12 ～	味噌汁をカウンターへ運んでいる際、スープジャーの蓋がずれていたので、運びながら指で直そうとしたところ手を滑らせてスープ	23	11	140201	10 ～

			13	ジャーが落下し、味噌汁が右足首に掛かり火傷した。					29 人
6	2018	2	22 ～ 23	店内キッチンにて、ラーメン用スープを仕込み中に、圧力の下がっていない圧力ナベのフタを開けてしまい、熱湯が噴出して火傷した。	37	11	140201		1～ 9人
7	2018	3	17 ～ 18	ガラス板をソーク炉土台に載せる作業中、ソーク炉土台から足を踏み外して落下した。落下した先にあったパレットに腰部が接触し被災した。	47	1	10902		30 ～ 49 人
8	2018	3	14 ～ 15	竹を煮沸する釜（巾1250mm×奥行1250mm×高さ1200mm、温度75℃）にトラブル発生し、それを直そうと釜のふちに乗った。足をすべらせひざまで湯につかり、やけどをした。	65	1	10402		10 ～ 29 人
9	2018	3	16 ～ 17	工場にて、クレーンで仕掛品（小型焼却炉／W810×D810×H1300、210kg）を移動するため、当該仕掛品の上部を0.5tクランプを使い挟み込んだ。本来脚立を使用して作業を行うところ、台座（W700×D400×H600）に乗り、作業し、バランスを崩し転倒しそうになり、自ら床に着地した。そのとき偶然にも、当該仕掛品と0.5tクランプの間に右手人差し指までが食い込んだ状態となっており、当該着地動作に伴って、右手人差し指をひねり切った。	27	1	11301		100 ～ 299 人
10	2018	4	11 ～ 12	受傷者は鑄込要請を受け補助員として準備を始めた。鑄込作業が始まり、受傷者と作業者が左右の鑄型の覗き窓から溶湯がせり上がってくるのを確認していた。そのとき、溶湯が覗き窓から溢れ出し、作業床に落ち跳ね上がった溶湯の一部がズボンに当たり引火し受傷した。	66	11	11002		100 ～ 299 人
11	2018	5	11 ～	学校内給食室の調理室にて、誤って釜内の熱湯がかかってしまい右	44	11	80209		1～

			12	手首を火傷した。					9人
12	2018	5	12 ～ 13	ゴルフ場でカートから客に渡すクラブを、階段を下りて渡そうとした際、階段横の表示板に気付かずつまずき、右肩から転倒した。	31	11	130201		50 ～ 99 人
13	2018	5	11 ～ 12	引っ越し作業中、4名でエコノミー乾燥機（62kg）を運搬中、エレベーターホール前で、3名で持ち上げたときにバランスを崩し、被災者側に倒れてきた乾燥機に当たり、右肘と右膝を打撲した。	40	5	10803		30 ～ 49 人
14	2018	5	7 ～ 8	調理室にて、使用済みの天ぷら油の入った鍋を両手で持って預けながら、台の上に置いた油入れ用の寸胴鍋に移しているとき、誤って容器外に油をこぼし左足膝下、右足膝にかかり火傷を負った。	68	11	140201		100 ～ 299 人
15	2018	5	20 ～ 21	造粒過程で原料の一種であるソルゲン溶液が不足していることが発覚し、慌てて作成に取りかかる。タンク内の水に蒸気を加え加熱したのちソルゲンを投入、タイマーを7分に設定しその場を離れ、別の作業をしてタイマーに気が付かず10分以上たった状態で気付いた。現場に戻るとタンクから泡やしぶきが床面に溢れている状態だったため、慌てて制御盤に攪拌機を止めに行き、攪拌機停止後蒸気バルブを閉めた際、タンクから溢れ出た泡もしくはしぶきが右足にかかり火傷した。	27	11	11709		50 ～ 99 人
16	2018	6	10 ～ 11	作業場内、電気炉とベルトコンベアの間で型ばらし作業中、電気炉から取り鍋へ溶けた鉄（約1400℃）を移し替える際、被災者は安全確保のため4kmほど離れたところで待避していた。その際、発生した火花状の飛沫（溶けた鉄が飛び散ったもの）が通常より遠くまで弾け飛び、飛沫が安全靴と作業ズボンの隙間から中に入り負傷した。	41	11	11002		10 ～ 29 人

24	2018	8	14 ～ 15	厨房内の麺を湯せんする場所で、90℃のお湯が出ているところを通り、長靴の中にお湯が入り足を火傷した。	43	11	140201	～ 29 人
25	2018	8	10 ～ 11	店舗内キッチンにて、手前の台の上に熱いうどんつゆの入ったスープウォーマーに誤って当たり、スープウォーマーが台から落下し、中のうどんつゆが右足首下腿にかかり、熱傷を負った。	62	11	140201	10 ～ 29 人
26	2018	9	0 ～ 1	キッチンで調理中、芋餅を揚げようとしていたとき、本来はフライヤーで揚げなくてはいけないが、IHで油を高温にしたため、出火して炎で顔面と左手と気道に熱傷を負った。	34	11	140309	10 ～ 29 人
27	2018	9	10 ～ 11	ゴミをボイラーの燃焼口に投入した際、バックファイアーを起こし、左腕と顔左側に火傷を負った。	41	11	10501	10 ～ 29 人
28	2018	9	13 ～ 14	厨房内にて、残ったご飯を廃棄しようとして釜を持ち上げた際、右腕に痛みが走り右肘を痛めた。	52	19	80209	10 ～ 29 人
29	2018	9	0 ～ 1	キッチンで調理中、芋餅を揚げようとしていたとき、本来はフライヤーで揚げなくてはいけないが、IHで油を高温にしたため、出火して炎で顔面と左手と気道に熱傷を負った。	34	11	140309	10 ～ 29 人
30	2018	9	10 ～ 11	ゴミをボイラーの燃焼口に投入した際、バックファイアーを起こし、左腕と顔左側に火傷を負った。	41	11	10501	10 ～ 29 人

31	2018	9	13 ～ 14	厨房内にて、残ったご飯を廃棄しようとして釜を持ち上げた際、右腕に痛みが走り右肘を痛めた。	52	19	80209	10 ～ 29 人
32	2018	9	0 ～ 1	キッチンで調理中、芋餅を揚げようとしていたとき、本来はフライヤーで揚げなくてはいけないが、IHで油を高温にしたため、出火して炎で顔面と左手と気道に熱傷を負った。	34	11	140309	10 ～ 29 人
33	2018	9	10 ～ 11	ゴミをボイラーの燃焼口に投入した際、バックファイアーを起こし、左腕と顔左側に火傷を負った。	41	11	10501	10 ～ 29 人
34	2018	9	13 ～ 14	厨房内にて、残ったご飯を廃棄しようとして釜を持ち上げた際、右腕に痛みが走り右肘を痛めた。	52	19	80209	10 ～ 29 人
35	2018	9	0 ～ 1	キッチンで調理中、芋餅を揚げようとしていたとき、本来はフライヤーで揚げなくてはいけないが、IHで油を高温にしたため、出火して炎で顔面と左手と気道に熱傷を負った。	34	11	140309	10 ～ 29 人
36	2018	9	10 ～ 11	ゴミをボイラーの燃焼口に投入した際、バックファイアーを起こし、左腕と顔左側に火傷を負った。	41	11	10501	10 ～ 29 人
37	2018	9	13 ～ 14	厨房内にて、残ったご飯を廃棄しようとして釜を持ち上げた際、右腕に痛みが走り右肘を痛めた。	52	19	80209	10 ～ 29 人

38	2018	10	8 9	熱処理蒸気釜で製造作業中、釜を傾けて中の食材を取り出す際に釜を傾け過ぎてしまい、食材が長靴の中に入り、左足甲に火傷を負った。	59	11	10109	300 ～ 499 人
39	2018	10	14 15	厨房内で食缶を煮沸し、熱湯を利用して作業台を消毒する作業を行っていた。その際、通りかかった被災者の長靴に熱湯が入ってしまい、左足首に火傷を負った	66	11	80209	1～ 9人
40	2018	10	4 5	セラミックファイバー製造用電気炉の定期修理作業で、原材料の塊をブレーカーで解体中に転倒し、腰を骨折した。	55	2	11403	300 ～ 499 人
41	2018	10	19 20	座敷で接客を終えて移動する際、沸騰した出汁が入った鍋に左足をに入れてしまい、火傷を負った。	23	11	140201	1～ 9人
42	2018	10	7 8	事業所内で調理中、スチームコンベクションの扉を開けて蒸気を逃す際、蒸気が残っている状態で右手を入れてしまい、火傷を負った。	70	11	80209	1～ 9人
43	2018	10	15 16	事業所内で塗装作業後、シンナーを使用して腕に付着したペンキ汚れを落とした。その後、バックヤードでゴミ焼却する際、シンナーの拭き取りが不十分であったため引火し、両腕に火傷を負う。	48	11	10109	10 ～ 29 人
44	2018	11	16 17	調理場内で、炊飯中の炊飯器の上の物を取ろうとし、炊飯器から出る蒸気で右腕に火傷を負った。	21	11	140101	50 ～ 99 人
45	2018	11	14	プロパンガスのバーナーを使用して材料に焦げ目を付ける際、点火したときに調整器が緩んでいたため、火が噴き出して両足に火傷を	59	11	80109	10 ～

			15	負った。					29 人
46	2018	11	16 ~ 17	<p>圧延中、過熱炉内に次材の立ち上がりが発生したため、均熱帯点検口で処置作業を行っていた。立ち上がり材料を下ろすスペースを作るため、回転治具を使い材料端面部に差し込み、回転させて抽出しようとしたところ、材料が落下した。その際、治具をつかんでいた作業者が弾き飛ばされ、階段手摺りに腰を強打して転倒した。</p>	51	6	11001	50 ~ 99 人	
47	2018	11	13 ~ 14	<p>厨房内で作業中に同僚と接触し、持っていた熱湯が体に掛かり火傷を負った。</p>	69	11	80209	30 ~ 49 人	
48	2018	11	11 ~ 12	<p>食品工場内で炊飯作業中、約20kgの釜を持ち上げたとき、腰に違和感があったが作業を続けた。数か月後に痛みが増し、椎間板ヘルニアを発症した。</p>	22	19	10109	50 ~ 99 人	
49	2018	11	15 ~ 16	<p>工場敷地内の焼却炉で、残り火が少ないと思い、鋸屑を焼却炉内に入れたところ、粉塵に引火して爆発し、頭部等に熱傷を負った。</p>	61	11	10501	10 ~ 29 人	
50	2018	12	13 ~ 14	<p>工場煮釜の蓋内側を豆腐たわしで洗浄中、誤ってたわしが苛性水の入った煮釜に落ちたが、そのまま蓋を閉めて煮沸洗浄を終了した。たわしを取り出そうとしたところ、蒸気が抜けきっていなかったため、苛性水が飛び、長手袋をしていなかった手を火傷した。</p>	64	11	10109	1~ 9人	
51	2018	12	21 ~ 22	<p>夜勤中、顧客先でメッキ炉マシンの付帯工事を依頼された。作業内容と注意事項を確認後、スクリューの取り外しを開始した。仮置きする際、開口部から足を踏み外し、溶融亜鉛に左足が入り熱傷を負った。</p>	64	11	30302	30 ~ 49 人	

52	2018	12	9 ～ 10	依頼先の工場内で焼却炉炉底金物の掃除修理作業中、焼却炉内の媒体（砂）を排出したところ媒体が勢いよく流れ出し、排出シュートの上で溢れた。その際、シュートの横にいた被災者の右足にかかり、熱傷を負った。	64	11	11702	1～ 9人
----	------	----	--------------	--	----	----	-------	----------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。